

報道関係者各位
プレスリリース

2017年12月25日
ソフトブレイン・フィールド株式会社

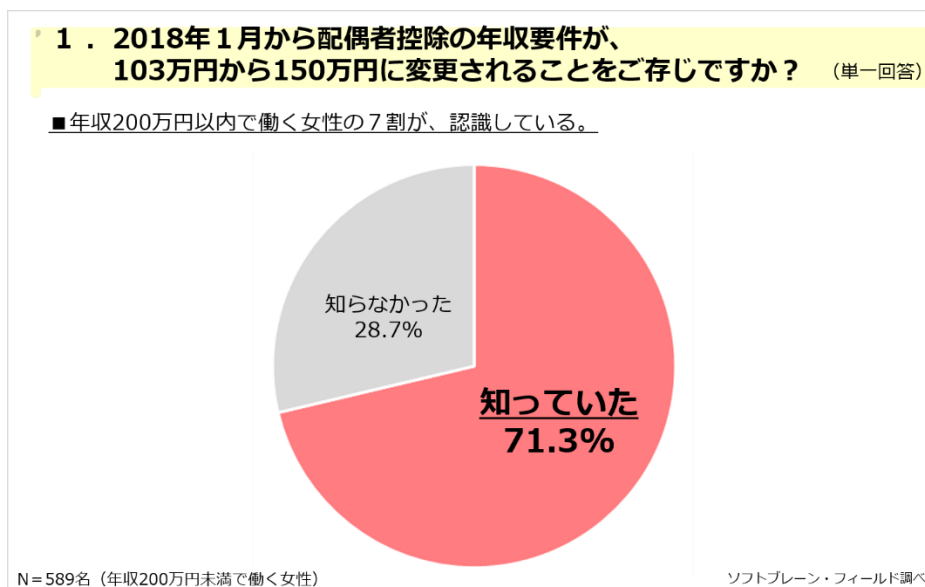
配偶者控除 150 万円まで拡大も 8 割の主婦は「働き方変えない」

～〈働く主婦〉2018 年から『配偶者控除の年収要件改定』働き方に関する意識調査～

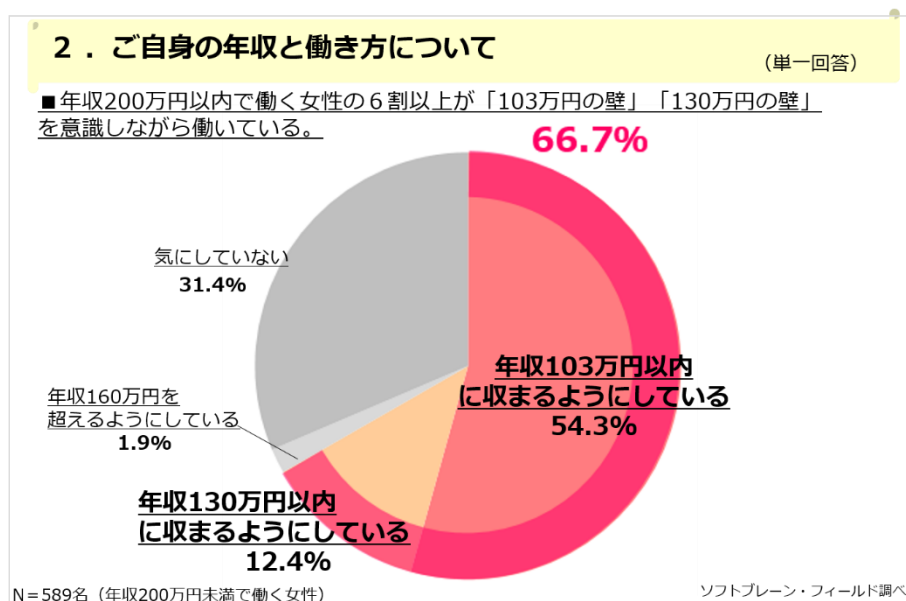
[調査トピックス]

- ・年収 200 万円以内で働く主婦の 71.3%が、2018 年 1 月からの配偶者控除上限金額の変更を認識している。
- ・配偶者控除改定後の働き方について、「働き方は変えない」が 81.2%であり多くの方が今の働き方を継続することがわかった。配偶者控除の廃止が検討されていた 2016 年 9 月調査時は、「働き方を変える」が 39.3%であったが、今回の調査では 18.8%で、前回より 20.5 ポイント下回る結果になった。
- ・働き方を変えない理由は、「スケジュールの融通がきくから」が 63.6%でもっとも多く、「家事と両立できるから」が 44.6%、「仕事内容が好きだから」が 32.8%と続き、家庭や育児を優先させ無理なく自分のペースで、好きな仕事をやりたいという声が多い。
- ・「働き方を変える」と回答した方の収入を増やすための働き方として、今よりも仕事の数を増やして「複数の働き方をする」が 29.7%でもっとも多く、「働く時間を増やす」・「働き方を変える」が、27.9%と続いたのに対し、正社員や契約社員などへ「契約形態を変える」は 5.4%とわずかであった。

2018 年から配偶者控除の年収要件が、現在の 103 万円から 150 万円に変更されることを受けて、フィールド・クラウドソーシング事業を展開するソフトブレイン・フィールド株式会社（本社東京都港区、代表取締役社長：木名瀬博）は、当社に登録しているキャスト会員（40 代～50 代女性の主婦が中心）を対象に、2018 年からの働き方に関する意識調査を 2017 年 11 月 24 日～11 月 30 日に実施しました。この改定により影響を受けると想定される働く主婦（年収 200 万円以内）が対象で、有効回答数は 589 名（平均年齢は 46 歳）でした。

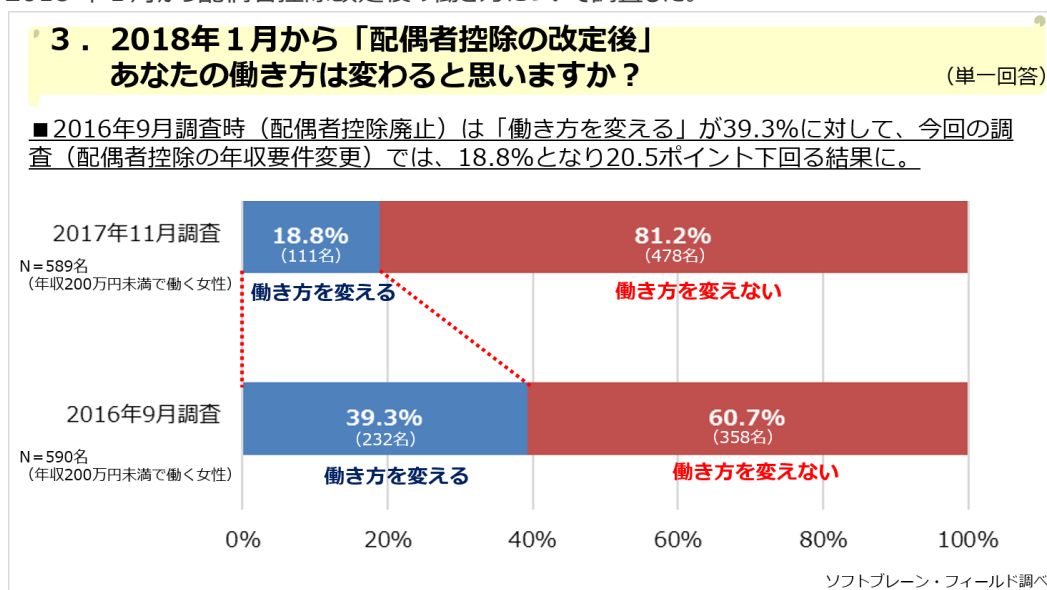


2018年1月から、配偶者控除の年収要件が現在の103万円から150万に変更されることについて、「知っていた」が71.3%で、「知らなかった」28.7%を大きく引き離し、関心の高さが伺える結果になった。



ご自身の年収と働き方について、「年収103万円以内に収まるようにしている」が54.3%、「年収130万円以内に収まるようにしている」が12.4%であり、年収200万円以内で働く女性の約6割以上がいわゆる“103万円の壁（所得税）”や“130万円の壁（社会保険料）”を意識しながら働いていることがわかった。

次からは、2018年1月から配偶者控除改定後の働き方について調査した。



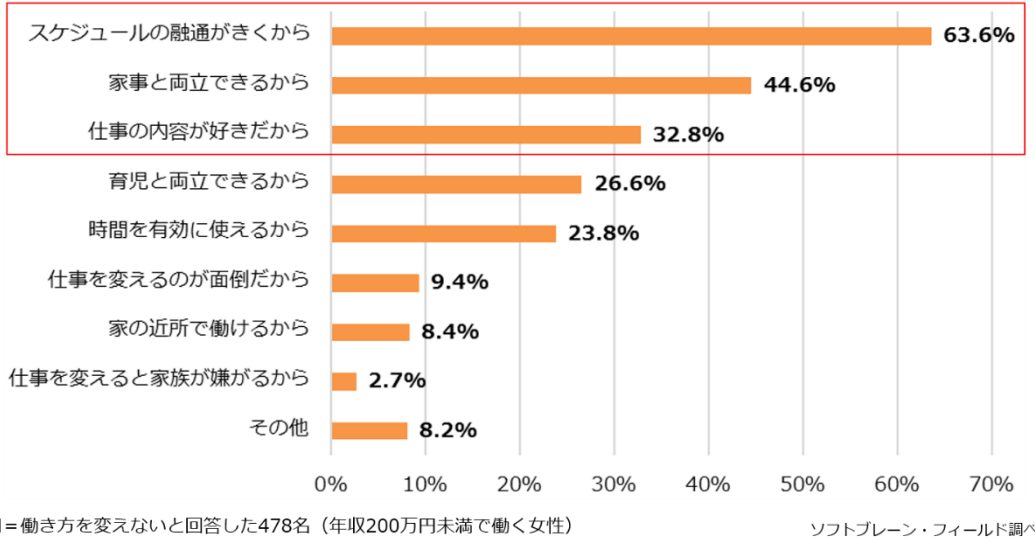
2018年1月からの働き方について、「働き方を変えない」が81.2%となり、多くの方が今と同じ働き方を継続すると回答した。

配偶者控除の廃止が検討されていた2016年9月調査時は、「働き方を変える」が39.3%であったが、今回の調査では18.8%で、前回より20.5ポイント下回る結果になった。配偶者控除を利用している世帯にとって配偶者控除の廃止は、所得税や住民税が増税となることが予想されるため、少しでも収入を増やして働こうとする意識が伺えたが、今回の配偶者控除の改定は、今の働き方に与える影響が少ないと考える人が多いことがわかった。

次に、配偶者控除改定後も「働き方を変えない」と回答した478名を対象に、その理由について調査した。

4. 2018年1月から「配偶者控除の改定後」も 同じ働き方を継続する理由は？

(複数回答)



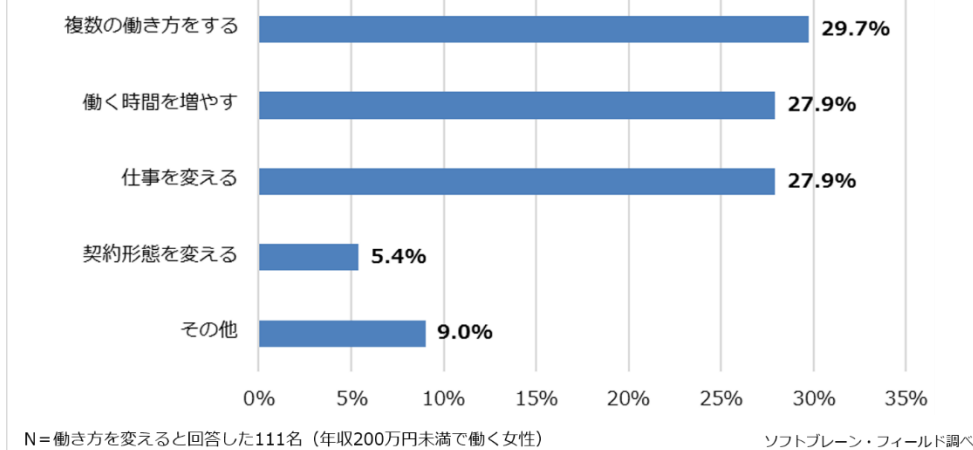
働き方を変えない理由は、働く時間などの「スケジュールの融通がきくから」が 63.6%でもっとも多く、「家事と両立できるから」が 44.6%、「仕事内容が好きだから」が 32.8%、「育児と両立できるから」が 26.6%、「時間を有効に使えるから」が 23.8%と続いた。

具体的なコメントをみると、「自分自身の時間の余裕がほしいので、時間の融通が利く方がいい。(福岡県 50代)」や、「多く働いて収入を得たりするよりも家庭内のことを丁寧にやりたい。(宮城県 40代)」や、「今の仕事はとてもしやすいがあって好きな仕事なので変えるつもりはない。(愛知県 40代)」など、家庭や育児を優先させて、無理なく自分のペースで好きな仕事をやりたいという声が多かった。

次に、配偶者控除改定後(年収要件が103万円から150万円に変更)、収入を増やすために「働き方を変える」と回答した111名を対象にどのように働き方を変えるか調査した。

5. 2018年1月から「配偶者控除の改定後」収入を 増やすために、どのように働き方を変えますか？

(単一回答)



収入を増やすための働き方として、今よりも仕事の数を増やして「複数の働き方をする」が 29.7%でもっとも多く、「働く時間を増やす」・「働き方を変える」が、27.9%と続いた。正社員や契約社員などへ「契約形態を変える」は 5.4%であり、ごくわずかであった。

今回の配偶者控除改定について、働く主婦の方に生の声を聞くと、「せっかく配偶者控除の壁が150万になり、仕事を増やそうとしたのに主人の会社の扶養手当の支給が被扶養者収入上限は103万までのまま。どのタイミングで収入を増やすか悩む。(神奈川県 40代)」や、「もう少し子育てに理解のある方々が増えるといいと思う。今の職場は子どもの病気など、

急な休みに嫌な顔されて、働きにくい環境。改正後はもっと働きたいけど、職場の環境が変わらないと肩身が狭い（北海道30代）」など、働く意欲が高まったという声や、「もう少し制度自体を理解できて自分に合う働き方を考えたい。（神奈川県40代）」など、自身の働き方について考えるきっかけになったという声もあった。

家事や子育てをしながら今よりも働くためには、社会や会社の意識改革、サポート体制など、周りの環境を整えるために乗り越える壁がいくつもあることがわかり、働く主婦の本音を垣間みることができた興味深い内容となった。

【調査概要】

対象	当社に登録しているキャスト会員（年収200万未満の働く女性）					
調査方法	当社リサーチサイト「リサれば！」を活用したインターネットリサーチ					
調査地域	全国					
調査期間	2017年11月24日 ～ 2017年11月30日（7日間）					
回答者の属性	20代	30代	40代	50代	60代以上	総計(N)
女性	19	90	276	180	24	589
%	3.2%	15.3%	46.9%	30.6%	4.1%	平均年齢:46歳

【当社にキャスト登録をご希望の方は】

・パソコン用登録 URL : <https://www.sbfield.co.jp/pc/>

・携帯用登録 URL : <https://www.sbfield.co.jp/m/>

会員登録いただくと、当社からお仕事情報を配信いたします。スーパーマーケットやドラッグストアなどの量販店、公共施設や遊戯施設、専門サービスを提供する全国チェーンのお店から飲食店まで、あなたの生活圏がそのままお仕事のフィールドとなります。

【ソフトブレン・フィールド株式会社 会社概要】

ソフトブレン・フィールド株式会社は、ソフトブレン株式会社（市場名：東証1部・4779、本社：東京都中央区、設立年月日：1992年6月17日、代表取締役社長：豊田浩文）のグループ会社として、全国の主婦を中心とした登録スタッフ約70,000名のネットワークを活用し、北海道から沖縄まで全国のドラッグストアやスーパー、コンビニ、専門店など120,000店舗以上をカバーし、営業支援（ラウンダー）や市場調査（ミステリーショッパー、店頭調査など）を実施しています。当社代表の木名瀬博は、2004年にアサヒビールの社内独立支援制度に応募し、合格第1号事業として独立しました。

「木名瀬 博のフィールド虎の巻」 URL : <https://www.sbfield.co.jp/toranomaki>

本社所在地 : 東京都港区赤坂3-5-2 サンヨー赤坂ビル5階

設立 : 2004年7月 / 資本金 : 151,499,329円

代表取締役社長 : 木名瀬 博 URL : <https://www.sbfield.co.jp/>

【報道関係お問い合わせ先】

ソフトブレン・フィールド株式会社

経営企画部

広報担当 坂本（さかもと）/石井（いしい）

TEL : 03-6328-3630 FAX : 03-6328-3631 MAIL: press@sbfield.com

当社調査リリースに取材協力していただける企業を募集しています。くわしくは、press@sbfield.com よりお気軽にお問合せください。